

## 第9回全員協議会会議記録

開閉 日 時	令和4年12月1日（木曜）		午後1時30分 開会
	休憩 14:03-15		
会議場所	本会議場		
出席議員 氏名	議長 早苗 豊	議員 鈴木 健充	議員 橋本 和仁
	副議長 常通 直人	議員 中村 和宏	議員 中田智恵子
	議員 西尾 一則	議員 立川 美穂	議員 黒田 栄継
	議員 柴田 正博	議員 梶澤 幸治	
	議員 正村紀美子	議員 堀切 忠	
欠席議員 氏名	議員 寺町 平一		
	議員 渡辺洋一郎		
説明等に 出席した 者の氏名			
事務局職員	事務局長 安田敦史	総務係長 佐藤史彦	総務係主査 上田瑞紀

『会議に付した事件と会議結果など』

### 1 開 会

議長が開会を告げ、寺町議員、渡辺議員の欠席を報告し、事務局が日程を説明し協議する。

### 2 議 件

#### (1) 協議事項

ア 芽室高校意見交換会実施要領案について

資料1

イ 議会報告と町民との意見交換会実施要領案について

資料2

ウ 白樺高校（3学年）との連携事業に係る外部評価について

資料3

エ 物価高騰に対する今後の支援策について

資料4

### 3 その他

### 2 議 件

#### (1) 協議事項

ア 芽室高校意見交換会開催要領案について

資料1

- ・事務局長：第2回全員協議会（6月1日開催）で決定した今年度の事業方針に基づき、先方との協議を踏まえて、議運で議論を重ねた（11月16日・11月29日）実施要領案（趣旨、目的、テーマ、日程、場所、参加者、事業の留意事項、グループワーク進行要領、外部評価シート）について協議し、決定したい。決定していただきたい事項は2点。1点目は「6」の参加者。コロナの影響を加味して、双方少数で設定したこと。2点目は「7」の留意事項（特に2項目）。意見交換に参

加する議員の共通認識として、今後の物価高騰対策の調査研究を見据えて、若者支援に係る支援策に反映できるものはないかという視点を持つこと、また、年明けに予定する白樺高校1年生の議場体験におけるテーマに活用できるものはないかという視点を持つこと。協議したい事項は、資料1-2。年度当初に全議員で共通認識を図った外部評価の実施として、全議員の共通言語となる事業目標と成果等を設定し、この事業に臨むことである。なお、意見交換会へ参加する議員にあっては、事業実施前に事前打ち合わせの場を設定することを申し添える。

- ・議長：「資料1-1」について、質疑、意見はないか？
- ・(質疑・意見なし)
- ・中村委員：「資料1-2」補足説明（今年度取り組む初めての手法であること。試行錯誤していること）。
- ・議長：「資料1-2」について、質疑、意見はないか？
- ・柴田委員：芽室高校に関しては、大成駅の待合室を改善した実績がある。参加議員にあっては、高校（生徒）が求める声を捉えていただくことを期待する。
- ・議長：他にないか？
- ・(なし)
- ・議長：異議ないか？
- ・(異議なし)
- ・議長：「資料1-2」については、適宜、加筆修正があると思うが、都度、議運で協議し全議員に共有する。提案のとおり決定する。

イ 議会報告と町民との意見交換会実施要領案について 資料2

- ・事務局長：第2回全員協議会（6月1日開催）で決定した事業方針に基づき、町内全小中学校（校長もしくは教頭）との協議結果を踏まえ、議運で決定した実施概要案を説明する。まだ、確定していない事項もあるので、その点については、この場の議論を踏まえて、改めて議運で協議し早急に決定していきたい。協議し決定すべき事項は「4：事業概要」と「5：今後のスケジュール」。「4」では、コロナの影響を鑑み、手法は対面式ではなくアンケート形式とすること。そのため、意見交換会ではなく意見聴取の機能となる。なお、テーマは、現在、議会全体で調査研究を進めている「物価高騰対策」とし、検討結果を報告すると共にその内容に対して、意見聴取をしようとするもの。「5」では、今後、議運において、PTA役員に対する意見聴取の項目設定を含め、その手法、聴取した意見の取扱方法等の案を検討・決定する予定という提案である。
- ・議長：質疑、意見はないか？
- ・立川議員：アンケート形式の手法について、先方との協議を踏まえてということは理解するものの、オンラインの検討経過は？
- ・中村議員：先方との協議では、オンラインも選択肢にしたが、アンケート形式に整ったところである。
- ・梶澤議員：意見聴取の活用（還元）方法が重要である。アンケートの実施期間等について、具体的な想定があれば伺いたい。

- ・中村議員：アンケート項目の設定や実施期間等、未整理のため、議運で早急に検討し案を整理したい。
- ・梶澤議員：来年度は改選期となり、来年2月が議会として最終活動時期と考える。については、意見の聴取が聞きっぱなしで終わるようなことにならないよう、議運で早急にスケジュールの整理がなされることを要望したい。
- ・中村議員：御提言を踏まえて取り組みたい。
- ・梶澤議員：報告テーマ「物価高騰に係る今後必要な支援策とは」は、町が提案している方策か、議会で検討している内容か？
- ・中村議員：議会が検討している内容である。
- ・梶澤議員：報告テーマについては、現在、議会が議論している支援策の検討を、どのようなスケジュールでまとめて対応策を決めていくかが前提となる。検討している支援策を今年度の事業として提言するのか、来年度予算に反映させていくのか等があるが、複数のパターンを想定し、結論を導くイメージか？
- ・中村議員：複数パターンを想定しながら、支援策の結論を整理していきたい。
- ・立川議員：アンケートの手法は？
- ・中村議員：オンライン方式を考えている。
- ・議長：本日いただいた意見を踏まえて、議運で事業内容をさらに詰めていくことで決定する。異議ないか？
- ・（異議なし）
- ・議長：提案内容のとおり決定する。

ウ 白樺高校（3学年）との連携事業に係る外部評価について 資料3

- ・事務局長：協議事項の「ア」とも関連するが、今年度の外部評価事業の対象に位置付けた事業のひとつとして「白樺高校（3学年）連携事業」があり、本日は「資料3-1」の項目ごとに、これまでの外部評価の取組と今後の進め方について、議会全体で確認と協議をすることが目的。「1：背景」と「2：現在までの進捗状況」は確認。「3：事業評価シート」は、先の議員研修会で講師を務めたHOPS三角氏からの助言を踏まえて、議運で協議を重ねて整理した案の協議。「4：今後の取組み」も共通認識と協議が目的である。
- ・議長：「資料3-3（PDMシート）」について、意見・質疑はないか？
- ・常通議員：改めて議運内での協議概要を説明したい。今年度は試行的にこの手法を活用したが、模索している段階である。芽室町議会としての新たな手法として確立させていきたいので、率直な意見をいただきたい。
- ・梶澤議員：事業目標、成果、活動に対して「すべてできなかった」となっている。評価の是非の共通認識を図るとともに、この結果（理由）の検証が重要である。目標設定に課題があるのか？それとも事業内容に課題があったのかなどの検証が重要である。
- ・橋本議員：議会（議運）としては、否定的な評価のコメントである反面、生徒のアンケートの評価は事業実施前後の比較で向上している傾向も伺える。総合的な評価が必要と考える。

- ・梶澤議員：白樺高校とは連携協定が存在する。議運として、この評価にあたっての目標設定と連携協定の関係はどのように考えるのか？
- ・常通議員：連携協定は相互の共通理念である。PDMシートは、それを踏まえて、個別事業に対し、議会として設定する目標と成果の客観評価となる。
- ・立川議員：成果が低く反省の思いが強い評価となっているが、事業の内容は条例等に適合していると考え。議運における評価の経過について概要を伺いたい。
- ・正村議員：シートの作り方（目標や成果の設定等）は、前年度の北大公共政策大学院の研究成果を踏まえたものであり、議運としてもまだ十分に確立できていないのが実態である。今後に向けても継続しながら、目標設定と成果の検証方法について、議会全体で研究を積んでいきたい。その上で、このシートの作成に際して主眼におくべきことは、この評価を前提とし、今後の事業をどのように企画し実施していくかという議論と捉えている。
- ・立川議員：事業自体を否定するよう見えるため、評価自体に異を唱えたところである。
- ・黒田議員：事業自体を否定する意味ではなく、目標設定は適正だったか？評価指標は適正だったか？手法は適正だったか？など、様々な視点で検証する媒体（手段）ということで理解いただきたい。
- ・梶澤議員：連携協定は、平成28年度から始まった。当初は活性化計画に位置付けて、多様な意見を議会に反映するということがあった。原点に立ち返って、シートの体裁もわかりやすいように改善していただきたい。
- ・議長：本日は、議会としてこの評価をまとめていくという趣旨ではなく、この事業の検証について、この手法を活用していく上での意見や課題を整理したい趣旨である。他に質疑・意見はないか？
- ・（質疑・意見なし）
- ・議長：本日の意見を踏まえて、議会全体として、PDMシートの定義や目的をはじめ、全議員が共通認識を図れるように、議運として、今後、取り組んでいくことを決定したい。異議ないか？
- ・（異議なし）
- ・議長：提案のとおり決定する。

エ 物価高騰に対する今後の支援策について 資料4

- ・事務局長：「1」の検討経過及び概要に記載のとおり、当該協議事項については、10月5日の合同委員会を踏まえて、全員協議会でのグループワーク、議運での分析作業の流れで検討・調査を進めてきたもので、本日は、経過の確認と今後の進め方の協議が目的となる。特筆すべきは、「資料4-2」及び「資料4-3」で、「資料4-2」は、議運において全協で各グループから出された支援策を6項目に整理し、それぞれの策について議運の委員が分担して、実現の可否を客観的に判断できるよう分析したものである。「資料4-3」は「資料4-2」の分析を導くための根拠資料として整理したものである。本日は「資料4-1」の「4：今後の検討手順」について、これまでの経過を踏まえた上で、協議し決定していただき

たい。

- ・議長：意見・質疑はないか？
- ・梶澤議員：提案の内容で良いと思う。
- ・橋本議員：学校給食費については、この支援策に入らないのか？
- ・正村議員：グループワークの議論の経過には存在したが、結果としては、支援策に抽出されなかったものである。
- ・橋本議員：改めて追加事項を協議していただきたいがいかがか？
- ・議長：本日の協議事項は今後のスケジュールのため、支援策の追加は合同委員会での協議となることとしたい。異議ないか？
- ・(異議なし)
- ・議長：提案のとおり決定する。

### 3 その他

- ・議長：「その他」で事務局から2点説明する。
- ・事務局長：「その他資料1」を説明する。前回の全協（第8回：11月16日開催）で共通認識を図った改正後のモニター設置要綱について、去る10月1日付で施行し、これまでのモニター制度における報償制度を報酬として改正したところだが、その後、町長部局との協議により、全庁的な取扱いとしては報酬の支払根拠は、要綱ではなく、条例、規則、規程の3種類に限るという見解が示されたことから、要綱を廃止し、規程を新たに制定したことを共有する。なお、本文の趣旨は一切の変更はせず、議長決裁の日である11月22日が規程の施行日となっていることを申し添える。また、モニター会議（12月7日開催）のグループ編成のデータを送信したので御確認いただきたい。

「その他資料2」を説明する。令和5年定例会の年間日程の予定を議運で協議したので、その結果を共有する。特筆すべき事項は5月臨時会議の日程で、開会日を5月9日と予定したことである。

- ・議長：意見はないか？
- ・梶澤議員：モニター会議のグループ編成については、効果的な議論となるよう、少数（最大4～5人）での2班体制なども考慮いただきたい。
- ・議長：他に各議員から「その他」はないか？
- ・(なし)
- ・議長：以上で会議を終了する。

傍聴者数	一般者	0名	報道関係者	2名	合計	0名
------	-----	----	-------	----	----	----

記載のとおり報告する。

令和4年12月1日

芽室町議会議長 早苗 豊

